

第7回 第六次東大和市男女共同参画推進審議会 会議録（概要）

日 時	平成28年7月13日（水曜日）午後7時から午後9時まで
場 所	中央公民館 視聴覚室
出席委員	奥田委員、小鷹委員、久保田委員、鈴木 _富 委員、外池委員、田口委員、野口委員、松本委員、水落委員、安田委員、矢野委員
欠席委員	小山委員、鈴木 _京 委員、忽滑谷委員
市出席者	子ども生活部長、市民生活課長、消費・共同参画係
会議次第	別紙のとおり
当日配布	・次第 ・第二次東大和市男女共同参画推進計画平成27年度年次報告書について 諮問書（写） ※諮問後配布 ・第12回東大和市男女共同参画川柳募集チラシ ・男女共同参画川柳作品集-2- ・第2回男女共同参画講座案内チラシ ・男女共同参画情報誌「はーもにい」編集委員募集チラシ ・東京都女性活躍推進白書（写） ・平成28年度「男女共同参画推進フォーラム」案内

○会長あいさつ

皆さまこんばんは。暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。このあと市長から、平成27年度年次報告書の諮問をいただきますけれども、今までのように活発な議論をしていただき、油絵のように色を重ねるような討議をお願いしたいと思います。

○市長あいさつ

皆さんこんばんは。市長の尾崎でございます。本日は、お忙しい中、東大和市男女共同参画推進審議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。日頃より、当市の男女共同参画施策にご尽力をいただき、改めて感謝申し上げます。さて、東大和市では、男女共同参画社会の実現を目指し、平成23年3月に「第二次東大和市男女共同参画推進計画」を策定し、様々な事業に取り組んでまいりました。この計画策定から5年が経過し、社会情勢の変化に伴い新たに発生した男女共同参画に関する課題に柔軟に対応していくため、昨年度、計画の見直しを行い、審議会からの答申等を踏まえ、平成28年3月に改訂版を策定いたしました。本日は、改定前の第二次東大和市男女共同参画推進計画 平成27年度年次報告書について諮問をさせていただく予定となっております。委員の皆様におかれましては、それぞれのお立場から、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げますとともに、暑いですから、本日ご出席の皆様のご健勝を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

1 市長から諮問

早速ですが、市長から諮問させていただきますので、会長よろしく願いいたします。

「第二次東大和市男女共同参画推進計画平成27年度年次報告書について」諮問書※別紙参照

2 事務局職員の異動について

○4月1日に職員の人事異動がありましたので、この場をお借りしましてご紹介させていただきます。前任市民生活課長田村が、監査委員事務局参事になり、部長職に昇任し異動になりました。

皆さんこんばんは。部長からお話しがありましたように、4月から監査委員事務局に異動になりました。皆さま方には3年間いろいろとお世話になりまして、ありがとうございました。私が最初に3年前にあいさつさせていただいた時に、係長で1年間こちらの審議会をやらせていただいて、それから課長で戻れたことを自分でも嬉しく思いますし、頑張りたいというお話をさせていただいたかと思えます。頑張る気持ちはありましたけれども、それが皆さまのご期待に添えたものかどうかは自信がございませんけれども、3年間皆さまと一緒に、最後は改訂版を作り上げることができたことは、私にとっても大きな力になったと思えます。今度の仕事は、市全体の業務の監査ということで、先日も研修に行きましたが、市役所のホームドクターのような役割ということで、大手術はもちろんできませんけれども、小さい傷だったら、私たち監査の見られるところで食い止めることができるということを講師から聞きまして、それにはまず、自分が市役所の中をよく知らないといけないということで、特に財務的なことはまだ勉強中ですので、そのような知識をここで3年間頑張ったように、自分の中で一生懸命やらせていただいて、市の発展に少しでも私の力が役立つことを思いながら、これからも頑張っていきたいと思えますので、ほかで皆さまにお世話になることもあるかと思えますが、これからも引き続きよろしくお願いたします。ありがとうございます。

○後任は市民生活課市民協働係長から昇任した大法です。

ただいまご紹介に預かりました市民生活課長を拝命賜りました大法と申します。昨年度は、計画の中間年にあたるということで、皆さま方に改訂版においては、多大なお力添えをいただきましたことを、この場をお借りしまして御礼申し上げます。先週は、男女共同参画担当課長会に、多摩地区の市町村が集まって行なわれました。その時も、男女共同参画というと女性の管理職が多いと思っていたのですが、実際は3分の1も女性はいらっしゃらなくて、これも女性の目線だけでなく、男性の目線からの男女共同参画もこれから必要ということ、各自治体が考えている表れかと思えました。私も家庭で家事をやっているということもありますので、そういう意味では、男女共同参画をやってきたはしりではないかと自負しています。課長が女性から男性に変わったことで、程度が落ちたと言われぬようにやっていきたいと思えますので、引き続き皆さま方のお力添えを賜りたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

○それから、事務局の消費・共同参画係の係長宮田も中央図書館に異動になりましたので一言ごあいさついたします。

この度の異動で中央図書館に配属になりました宮田です。委員の皆さんとは審議会を通じて1年間男女共同参画フォーラムに参加したり、計画の改訂版に携わらせていただいたりしまして、大変いい経験と勉強をさせていただきました。今図書館におりますので、委員の皆さまも本を読みにきたり借りにきたりしていただけたらと思えます。今後もよろしくお願いたします。1年間ありがとうございました。

○後任の係長に障害福祉課から西田が参りました。

障害福祉課から4月に異動になりました消費・共同参画係長の拝命を受けました西田と申します。よろしくお願いたします。先日、課長会とは別に、男女共同参画担当者が集まる会議で、近隣市の担当者とお話しをする機会がありましたが、男女共同参画という言葉を出すと市民の方に浸透するのが非常に難しいということで、同じ悩みというかもっと身近な話題に変えて話をしないと、広がらないということでした。具体的な話しをすると共感されるが、男女共同参画を使うと敷居が高くなるという話をして、なるほどと思ったしだい。長年携わっている皆さんの前でこんな話をするのは恐縮ですが、男女共同参画を進めていきたいと思えますのでよろしくお願いたします。

3 子ども生活部長あいさつ

お時間いただきましてありがとうございます。引き続きまして私が御挨拶させていただきます。皆さん今年度もどうぞよろしくお願いいたします。先ほど市長の挨拶にもございましたが、昨年度は第二次男女共同参画推進計画改訂版の御審議をいただきましてありがとうございます。3月に製本し発行できたところです。推進計画の後期5年間についてご審議いただいたことを、今年度から取組みスタートになります。年次報告では厳しいご意見をいただけたらと思います。今日は慌てて資料を用意したのですが、女性活躍推進法が4月1日から施行いたしまして、国は推進計画を作るということですが、地方は作ることが努力義務になっています。東京都がどう考えているかということになります。推進計画では、住民に対してのもので、行動計画は我々職員や事業者がやらなくてはいけないことが決まったようでございます。昨年度から創業支援の事業にかなり力を入れてやっています。市では中小企業大学校東京校が東大和市駅の近くにありますが、そちらと商工会の協力を得まして昨年度35人の方が創業塾を卒業されました。35人中8人が女性でした。市内で創業された方のご紹介をしています。今年度も先月から、支援事業の講座がスタートしまして28人の受講者のうち10人が女性ということです。市民生活課でも女性対象の講座を行ったところでございます。女性活躍推進法の正式名称は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律といえます。女性が職業をするためにどのようなことが必要なかということで、創業支援も女性に対する部分に力を入れています。先日もハローワーク主催の創業支援もありましたが、ご興味がある方もいらっしゃるということで、そのような機会を市で作っていかなくてはいけないと思っているところです。駅を降りるとSUMOという雑誌が置いてありますが、毎週のように見えています。なかなか住み替えまちランキングに当市の名前が入ってこなくて、まちの力調査でも星マークが少ないところなんです。自然環境は抜群にいいけど、他にばつ(X)がついていますので残念に思っています。

4 その他（事務局から）

(1)

・第12回東大和市男女共同参画川柳募集チラシ

前半は徐々にではありますが、作品が集まっています。今年は事業所にも声をかけてはどうかということで、市がイトーヨーカドーさんと地域連携をしていますので、その会議の席上で従業員の方にお配りしていいということをご了承いただきましたので、チラシを渡してきます。中小企業大学校には、産業まつりでお世話になった絡みでPRできればということで考えています。川柳がマンネリにならないようにいろいろなアイデアを取り入れてやっていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

・男女共同参画川柳作品集-2-の発刊

第6回から第10回までの作品を載せた作品集です。前回は、第1回から第5回までの作品集を発行していますので、今回はその2になります。7月中に市の各施設で配布させていただく予定です。

・第2回 男女共同参画講座 平成28年7月24日（日曜日）・・・別紙チラシ

「お父さんと楽しくクッキング！」ということで昨年と同様に空龍の店長さんに講師をお願いすることができましたので開催します。現在募集中で、定員15組のところ12組の応募をいただいています。お問い合わせも数件いただいていますので、おそらく定員満員で開催できると思っています。

・男女共同参画情報誌「は一もにい」編集委員募集・・・チラシ

長く伝統のあるものですが、こちらの情報誌のボランティアも募集中です。残念ながらまだ応募は

ありませんが、今回の講座参加者にお声掛けさせていただきながら、ご協力いただけるような形で進めていきたいと思っています。委員の皆さまのお知り合いでやってみたいという方がいらっしゃいましたら、ご紹介していただければと思います。

・東京都女性活躍推進白書 概要版（写）

白書そのものは、大変ページ数が多い物ですから概要版をコピーさせていただきましたので、お目を通していただければと思います。女性活躍推進法につきましては、国から今年の4月までに事業所として市役所も、特定事業計画を策定するようになっていってまいりましたので、東大和市の職員の女性活躍推進の方針を示した特定事業計画を作成しました。現在計画は施行されています。概要については添付資料がなくて恐縮ですが、市のホームページに公表させていただいています。

以下部長の話に関する資料

- ・厚生労働省 女性活躍推進法特集ページ
- ・東大和市創業支援事業を受けて創業された方々のご紹介
- ・東京・神奈川32市 街力調査
- ・東京支部住みたい街ランキング
- ・工事のお知らせ

(2) 平成28年度「男女共同参画推進フォーラム」「国立女性教育会館」・・・詳細別紙

日程 平成28年8月26日（金曜日）から28日（日曜日）まで

・シンポジウム

「男もつらいよ～男性の働き方改革とワーク・ライフ・バランス再考～」

日時 平成28年8月27日（土曜日）午後1時から3時まで

集合 午前9時30分 市役所庁舎北側

3年前に部長が参加して良かったことから、2年前から委員さんと一緒に参加させていただいています。埼玉県嵐山町の国立女性会館で行われます。8月26日から28日までの3日間ありますが、事務局としては、27日土曜日のシンポジウムに参加したいと考えています。参加できる方は、平成28年7月29日（金曜日）までに 西川へご連絡ください。

(3) 次回審議会（第8回）の開催について

平成28年9月15日（木曜日）午後7時から 会議棟 第6会議室

・東大和市男女共同参画推進計画平成27年度年次報告書について答申案の検討

26年度の年次報告書をお持ちいただいたかと思いますが、この次の会議の開催通知と一緒に、各課から集まりました27年度の調査回答をまとめた資料を送りますので、事前に見ていただいっておかしいところなどのご意見をいただくこととなります。9月10月11月の3回の間にご意見をまとめた答申書を作ることとなります。11月末までに市長に答申書をお渡ししますのでよろしくお願ひします。年次報告書の54ページから審議会からの答申が載っていますが、昨年は目標ごとにご意見をいただいています。ご意見だけで3ページありますが、今年度もこのような形でご意見をいただきたいと思います。

(4) 事務連絡

・今後の会議日程

9月15日（木曜日） 年次報告書の各課回答についてご意見をいただく

10月13日（木曜日） 9月に指摘があり直したところの確認

11月10日（木曜日） 完成

※傍聴希望者の来所（職員対応）

今クールビズを実施していますが、水曜日には職員がうまべえポロシャツを着ています。市販でも売っているからです、欲しい方にはご案内させていただきます。東大和市にはうまべえというキャラクターがいるということ、他市の方に言っただけならと思いますので、よろしくをお願いします。（課長）

※傍聴希望者の方は、そろそろ会議も終わりますとお伝えしたところ、今日はやめて来月来ますということになりました。（事務局）

・子育て関係のご報告をします。保育園の不足が言われていますが、春には保育園に入れなかった方が国会の前で「日本死ね」などと発言をしていましたが、当市はおかげさまで、まだ入れない方もいますが、昨年4月の時点で待機児童が4人で、今年の4月では7人と増えてしまいましたが、保育園は終息してきました。学童が大変で、先日の新聞にランキングが載っていました。都下では八王子市に次ぐ2番目に待機児童が多いという結果でしたので、人口から見ると一番多いということになります。4月の時点で200人が入れないということになった時に、市長がどこかで預かれないかということをおっしゃって、学校を借りて学童の代わりと言っても学童は19時まで見ますが、17時までということで二小と四小で学童の代わりをやっていました。その他に市内に6つの児童館がありますが、そちらも学校帰りに寄ることができますので、学童を希望されたご家庭は、どこかで見るということになっています。そういうところも受入れをしているということであれば、4月の時点での待機児童は0人になります。学童としての定義がない場所で預かっていますので、東大和市独自の定義を作ろうと言っていますが、施設の整備をすると、この先の人口推計では必ず子どもが減っていくので、保育園の流行りでは、大きな保育園を作るのではなく、20人くらいの小規模保育所を作るということで、当市でも6月の議会で補正予算が通りました。玉川上水駅前にラーメン屋が辞めたところの賃貸物件に、小規模保育所を作っているところ。国も空き店舗を利用すると、入りやすいし撤退しやすいということで、補助金を出してくれますので、そこで少しの間やっとうと思っっています。ほかの法人でも来年度に向けてやりたいというところもあります。条件として2歳までしか預かれないので、3歳になったら他の保育園を探してもらおうということになると、またそこで待機児童になってしまいますから、当市では3歳になった時の受入れ先が必ずあるということであれば、やってもらっていいということにしています。市役所の近くに、のぞみ（旧てまり）保育園がありますが、旧てまり保育園の園舎を分園として小規模保育をしています。このようにしていけば、保育園は当分大丈夫だと思います。学童保育所もなんとかしなくてはいけないということもありますが、耐震や防火設備の整った物件がなかなか厳しい状況なので、学校の協力をもらうしかないと思います。一昨年までは、教育委員会は独立した組織だったのですが、市長が主催する総合教育会議がありまして、来月のその会議で学童の現状を、お話しさせていただくということになっています。保育・子育て関係専門の保育コンシェルジュが4月から配属されました。市のOBで資格をいっぱい持っていて、保健師、助産師、看護師、精神保健福祉士と4つも持っている人はなかなかいないですし、健康課長も経験したこともあります。保育園を軸に窓口でも市民に寄り添って相談に応じます。何年前かに横浜市で始めた制度で、この制度を作ったら待機児童が減ったということです。（部長）

・子ども食堂について内容や場所について教えてください。

→南街の東大和病院の西側にある自治会の集会所を借りて、有志の団体が月2回、一食300円の食事を提供しています。私が行った時は、カレーライスでした。昨年9月から初めていてPRも

していますが、資金も大変なので、農業委員会を通じて農家さんに賞品にならない食材をいただいたり、社会福祉協議会の補助金制度を利用したりしています。一昨年くらいから、無料の学習塾をボランティア団体が行っています。そちらには市が場所を提供して、社会福祉協議会の補助金を利用しています。夏休みや冬場は集中的に、高校受験に向けた学習指導を行っています。昨年の子どもたちは全員合格しました。補助金制度のハードルが高くて、採択されるかわかりませんが、補助が付けば、子ども食堂をやりたいという団体が2つくらいあります。市が全部引き受けることができないので、そのような制度を活用してほしいので後押しはしていきます。東京都の制度でチャレンジ支援として、高校と大学の受験のための塾の費用や受験料（3校分くらい）を貸してくれます。借りる形なのですが、合格すると返済しなくていいという制度です。借りられる方は、かなり所得が低い世帯になりますので、その制度を利用できなかった人に、無料の学習塾を案内しています。（部長）

・玉川上水駅のところに、総合福祉センターがまもなく完成ですが、施設内の様子について教えてください。

→あまり詳しくないので、今回の会議までにご用意いたします。（部長）

・極端な話、男女共同参画のブースがという話がありましたので、大きな施設ですので、間借りができないのかと思いました。また、横にある学童が複雑で、八小と十小が混合している学童なので、福祉センターを福祉だけで使うのか、他のものを併用して使うのかということを考えました。

→事業者は、秋田県で大々的にやっている社会福祉法人に委託していますが、学童の方は庭で遊んでいただいてもいいのですが、まだまだ障害に理解のない保護者もいまして完璧にシャットアウトしてほしいと言う方もいます。出入口が西側にしかないのですが、南側の学童からも災害の時には避難できますし、東側のDKKという工場がありますが、その工場も東側にしか出入口がないので、不審者の対応や災害の時に双方で行き来ができるようにしてくれたようです。総合福祉センターには、外部にも貸出しできる多目的集会室があるようです。そのうち、この会議で利用させてもらうのもいいと思います。委託業者を決める時に秋田県に視察に行きましたが、病院の経営もしてまして、病院で使用したシーツの洗濯工場や病院に納品するパン工場を福祉施設で行っていて、障害者の就労の機会や賃金のもらえるということを目指しているようです。（部長）

・総合福祉センターは、市のはずれのほうにありますますが、建物は見てわかりますが、駐車場の確保はどのくらいありますでしょうか。

→西側に10数台、東側にも少しあるようです。あそこの土地は10年前くらいに東京都から10億円のところ3億円で買いました。10年以内にその土地で事業を始めなければ返却してもらうという条件付きでしたので、ぎりぎりの期限でした。（部長）

・先ほど係長が、男女共同参画という言葉はとっつきにくいと言いましたが、例えばハミングホールは、正式名称が東大和市民会館で、多摩湖は村山貯水池というように親しみやすい名前を使っています。男女共同参画も親しみやすい呼び名をつけてもいいなと前々から思っていたのですが、どうでしょうか。

→立川市の男女共同参画の拠点はアイムと言いますが、始めた時からアイムとしていたので男女共同参画センターと名乗るよりはいいようです。（部長）

→立川はアイムが男女共同参画の拠点なので、男女共同参画に関する学習会や様々な活動が行われています。ロビーの壁に、男女共同参画とはどういうことかをイラスト入りで説明してあるものが常設されていて、誰が見てもいいようになっているのでいいと思います。東大和市は、週間の時など決まった期間しか展示しないので、常設することで市民に訴え続けることは必要だと思います。

→以前にお話ししましたように、公共施設の再編計画を立てているところですが、そこだけは削らないように意見を発しているところです。今後どうするかについては、決まっていない状況です。統廃合の計画ですから、今より大きくなることはないのですが、男女の拠点については言い続けます。

→立川のアイムはきれいな施設ですよ。立川駅から徒歩5分くらいですね。

→200人くらい入れるホールもあります。(部長)

- ・今回の参議院選挙では、121人が当選した内女性が28人、割合として23%で前回の選挙よりも6人増えたということで、少しずつ女性の比率も上がってきているということです。
- ・18歳からの選挙権になりましたが、18歳の投票率は多かったようですが、19歳がそれを押し下げたということで、全体的に20歳未満の投票は少なかったです。市内の高校には、選挙管理委員会が選挙の投票についてアピールしに行きましたので、18歳の投票については効果があったと思います。(部長)
- ・以上をもちまして会議を終了いたします。

以上。